

平成 24 年（2012 年）の渡島大島の火山活動

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

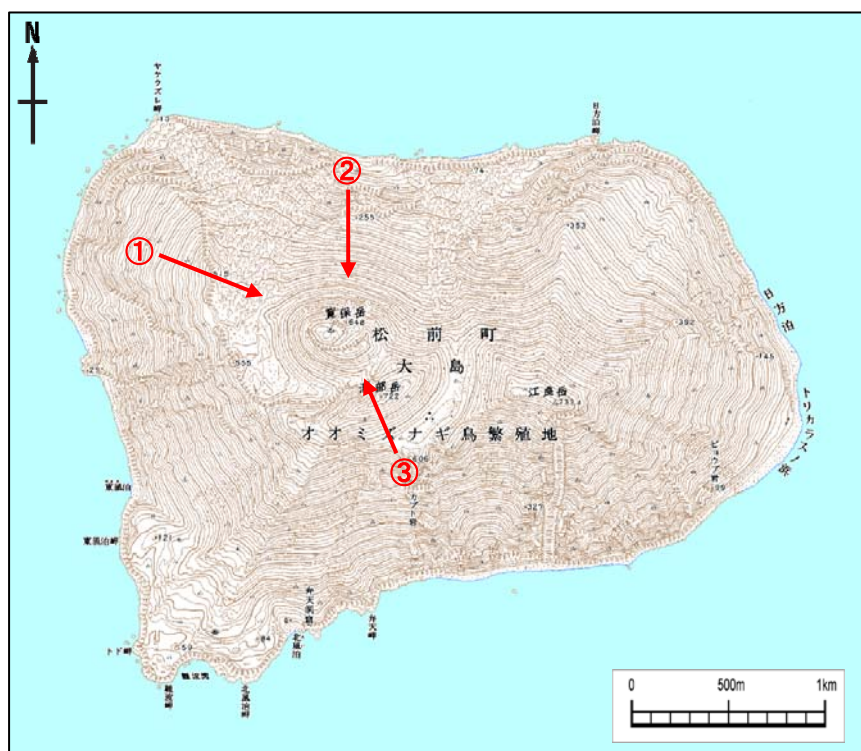
○2012 年の活動概況

・火口や噴気の状況（図 1～2）

5 月 14 日に実施した上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、寛保岳（中央火口丘）周辺からの噴気は認められませんでした。その他火口周辺の状況に特段の変化はありませんでした。

赤外熱映像装置¹⁾による観測では、寛保岳主火口南東側内壁や北側内壁に地熱域が確認できましたが、これまでの観測と比べて地熱域の拡大等の変化はありませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器で、熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

図 1 渡島大島 周辺図と赤外熱映像¹⁾及び写真の撮影方向（矢印）

この資料は札幌管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>) や気象庁のホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、『数値地図50000 (地図画像)』を使用しています (承認番号 平23業使、第467号)。

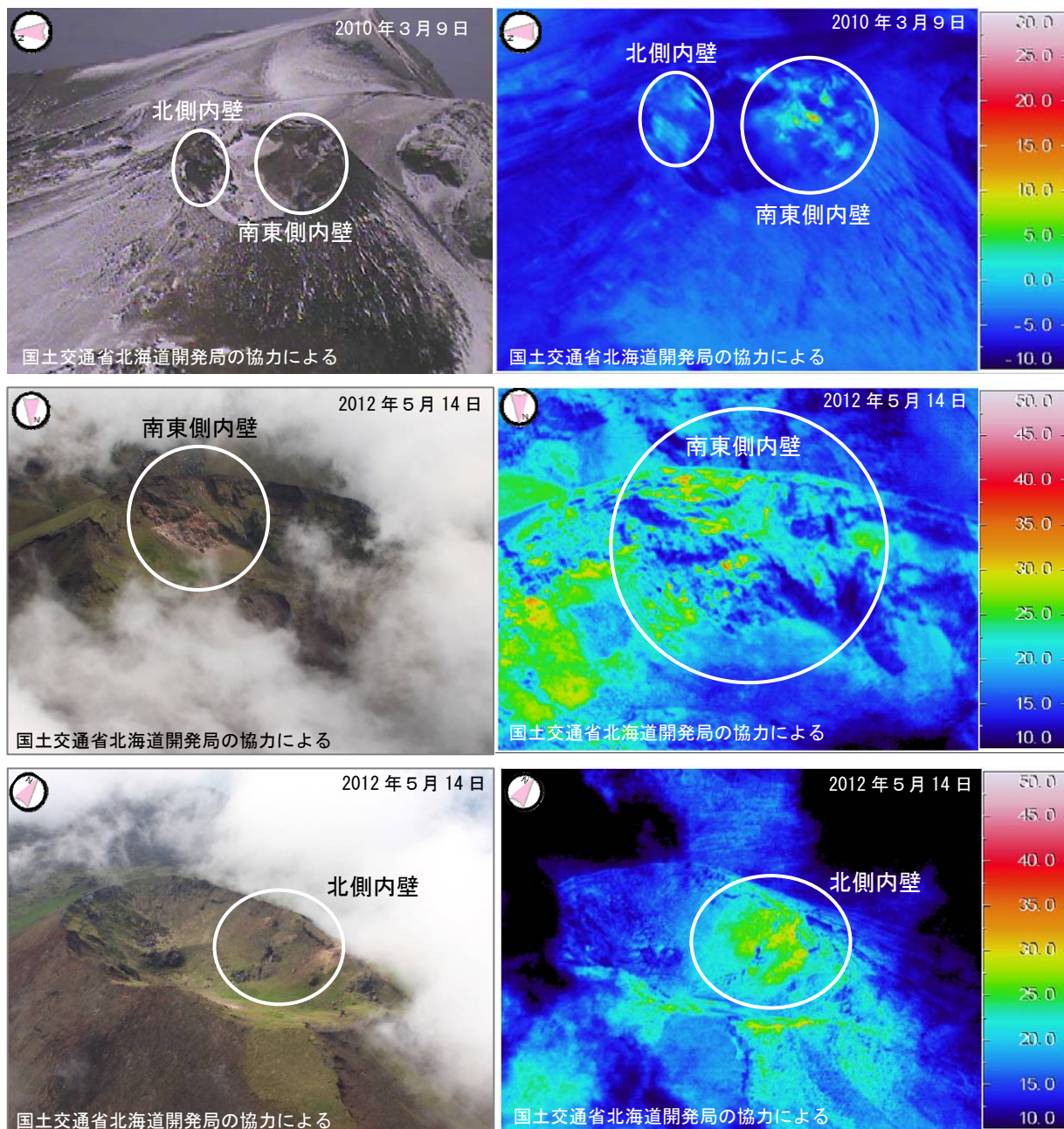


図2 渡島大島 寛保岳主火口の地表面温度分布¹⁾
 上：北西側上空（図1-①の矢印方向）から撮影
 中：北側上空（図1-②の矢印方向）から撮影
 下：南東側上空（図1-③の矢印方向）から撮影